

## てんかんについて

てんかん発作は、脳に本来ない異常な電気活動が発生しそれが広がることで起こります。現在、日本のてんかん患者数は約 100 万人ともいわれ、乳幼児から高齢者まで幅広く見られますが、そのほとんどは 18 歳以前に発病します。てんかん発作は、繰り返し起こることが特徴的ですが、不治の病ではありません。適切な治療を受ければ、日常生活も問題なく送れます。今回は、発作を上手にコントロールするためのアドバイスや、自分でなくとも、もし発作を見かけたらどう対処すれば良いか、などについて取り上げていますので参考にしてください。

### <どうして起こるの？>

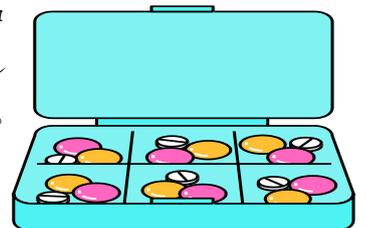
てんかんの原因は人によって様々ですが、検査をしても異常が見つからない原因不明の特発性てんかんと、脳に何らかの傷(脳外傷や脳出血など)や障がい(生まれた時の低酸素や仮死状態など)があって起こる症候性てんかんがあります。

### <てんかんには全般てんかんと部分てんかんがあります>

- ・全般てんかん：発作が脳全体で同時に広く起こるため、短時間意識を失ったり、けいれんを起こして倒れたりします。
- ・部分てんかん：脳の一部で発作が起こるので、発作の起きた場所によって症状が異なります。(運動：手や足などの一部分がピクつく 感情：恐怖感や寂しさを感じるなど)

### <治療法について>

てんかんの治療は、主に薬物療法(抗てんかん薬)ですが、薬で発作をコントロールできない場合、外科的治療も行われます。ただ、中には治療しても発作を完全に抑制できないてんかん(難治性てんかん)もあります。



### <日常生活で注意する事>

①薬は正しく服用しましょう！！

薬を不規則に服用したり、飲み忘れてしまうと、発作の再発の原因になります。

②睡眠不足、過労、アルコール、ゲーム等は発作の誘因になるので控えましょう！！

③運転免許取得(更新)には一定の条件が決められているので、主治医とよく相談しましょう。

## <これはてんかん？>

全身けいれんを起こす病気はてんかん以外にもあるので注意が必要です

- ・糖尿病による低血糖
- ・低カリウム血症など電解質異常をおこしたとき
- ・立ちくらみなどの神経調節性失神
- ・薬剤（睡眠薬や安定剤などを中断したとき） など

## <もし家族や友人が突然意識を失ったり、けいれん発作をみかけたら>

### 1、最初に

- ①安全な場所に移動させる
- ②ボタンやベルトをゆるめて呼吸を楽にさせる
- ③発作の様子を観察する（正確な診断の手助けとなります）
- ④通常、発作は1～2分程で治まりますが、発作が5分以上続いたり、短い間に再発した場合などは、救急車を呼びましょう！！

### 2、発作中にはいけない事

- ①身体をゆする
- ②大声で叫んだり、叩くなどして無理やり起こす

## <最後に>

てんかんは、内服治療で約6割、外科治療を含めると約8割の人が、普通に日常生活を送れています。てんかんと診断されたら、根気よく治療を続ける事が大切です。服薬方法を守れば、多くの発作が抑えられます。また、病気に対しての不安や悩みは一人では抱え込まず家族や医師などに相談しましょう！！



## ※学内で救急車を要請する場合

学内進入ルートのことがあるので、西門守衛室から119番通報します。

西門守衛室 (06 - 4307 - 3101) 直通